

5. アジア等地域における我が国の人材養成の課題

名古屋大学では、これまでアジア地域において、人材育成プログラム等を提供

修士の学位を取得させることにより、各国の副大臣、大臣秘書官、局長クラスなどアジア諸国の政府等機関の幹部候補者の育成に貢献。

しかしながら、彼らの中にはさらに博士の学位取得を希望する者が少なくないにも関わらず、

各国の政府幹部等は長期に職場を離れられないこと

途上国の行政官等を対象とした博士の学位取得のため

の我が国のプログラムがほとんど無いこと

等からその機会は極めて少ない。



6. アジア諸国の国家中枢人材養成プログラムの創設

海外キャンパス設置を通じて、世界と競う大学を形成

名古屋大学ではこれまでのアジア地域における他に類のない実績と経験を活かし、各国政府幹部等に対して長期に職場を離れることなく博士の学位取得を可能とする、「名古屋大学アジアキャンパス」と本邦キャンパスとの連携によるハイブリッド型プログラム「アジア諸国の国家中枢人材養成プログラム」を構想。

名古屋大学

- 受入条件： 1 . 各国の指導的立場にある行政官等、将来の中枢人材となる可能性が高い者
2 . それぞれの職場を長期間離れることができない者
3 . 修士（または博士（前期））の学位を有する者

授与する学位：博士（後期）〔D〕

受入人数：各国、各分野 1～2名/年

使用言語：英語

「アジア諸国の国家中枢人材養成プログラム」のコンセプト

法政国際教育協力研究センター（CALE）など、海外の基幹大学や、本学の海外拠点と有機的に連携

本学固有の研究指導体制の確立

- ・ 主指導教員及び副指導教員による、
年1～2回程度の現地訪問による研究指導
TV会議システム等を活用した遠隔指導
- ・ アカデミックライティング担当教員の派遣（常駐）
- ・ 現地大学等の教員を本学の特任教員等として雇用
- ・ 年1回程度、名古屋大学（本邦）での短期スクーリング
（数週間～数か月）

名古屋大学（本邦）での短期スクーリング期間中の奨学金等経済的支援



名古屋大学アジアキャンパス (海外キャンパス構想図)

ベトナム
Vietnam

法

医

ミャンマー
Myanmar

法

医

法

農

開

カンボジア
Cambodia

日本法教育研究センター
(ハノイ)

日本法教育研究センター
(ホーチミン)

内視鏡センター(フエ)

ミャンマー・日本法律研究センター

研究部
各国法情報収集
XXXX
XXXX
XXXX

教育部
日本法教育
XXXX
XXXX
XXXX

インドネシア
Indonesia

法

開

日本法教育研究センター

カンボジア開発研究センター(予定)

カンボジア農学教育研究拠点(予定)

名古屋大学
アジアキャンパス

産学連携
推進部
インターソープ
XXXX

事務部

ラオス
Laos

法

医

インドネシア・日本法律研究センター
(2014年1月設置予定)

法

医

ウズベキスタン
Uzbekistan

モンゴル
Mongolia

法

医

ラオス・日本法律研究センター
(2014年2月設置予定)

日本法教育研究センター

名古屋大学事務所

フィールドリサーチセンター

日本法教育研究センター

名古屋大学事務所(予定)

準備室開設済(2013年10月)

法

法学研究科

医

医学系研究科

農

生命農学研究科

開

国際開発研究科

各国サポート体制
研究指導教員、研究指導補助教員、事務職員の配置

アジア諸国の国家中枢人材育成プログラム 修了までのスケジュール（法学分野）

入学前 | 当該国の立法機関、司法機関および行政機関において、相当の実務能力および経験を有すること

年次	1年									2年									3年																	
月	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9
現地名	現地スクーリング																																			
指導体制	【主指導教員】 【アカミツライティング】 【現地大学指導教員】									【主指導教員】 【アカミツライティング】 【現地大学指導教員】									【主指導教員】 【アカミツライティング】 【現地大学指導教員】																	
現地国名	ウズベキスタン、モンゴル、ベトナム、カンボジア、ミャンマー、ラオス、インドネシア																																			
研究実施	研究の実施 研究計画立案（全体・初年度）									研究の実施 研究計画立案（第2年度）									研究の実施 研究計画立案（第3年度）																	
研究テーマ	研究テーマに関する文献調査（国内・海外）									研究テーマに関する文献調査（国内・海外）									研究テーマに関する文献調査（国内・海外）																	
中間発表	【日本キャンパス】 初年度における成果の取りまとめ 中間発表									【日本キャンパス】 第2年度における成果の取りまとめ 中間発表									【日本キャンパス】 学位論文取りまとめ 公開学位試験																	
学位論文	学位論文の執筆									学位論文の執筆									学位論文の執筆																	
学位授与	学位授与																																			
指導体制	【主指導教員】 遠隔による研究指導（隔週） 【アカミツライティング】 論文執筆指導（毎週）									【主指導教員】 遠隔による研究指導（隔週） 【アカミツライティング】 論文執筆指導（毎週）									【主指導教員】 遠隔による研究指導（隔週） 【アカミツライティング】 論文執筆指導（毎週）																	
指導体制	【主指導教員】 【副指導教員】 助言・指導・評									【主指導教員】 【副指導教員】 助言・指導・評									【主指導教員】 【副指導教員】 助言・指導・評																	

「アジア諸国の国家中枢人材養成プログラム」によって期待できる成果

本プログラム実施により、
我が国の途上国の人材育成のデメリット（多くは修士レベルまでしか取得できない）を克服
各国の中枢機関に在職する人材の各分野での指導能力、分析能力等を向上
各国の言わば、ブラックボックスとなっている法整備状況、医療等の状況について学術論文（英文）等により海外に公表
各国の行政現場への成果等の反映



各国の中枢を担う優秀な人材を育成し、
以って、我が国の国力を増大し、日本のプレゼンスを向上

7. その他の取り組みの構想

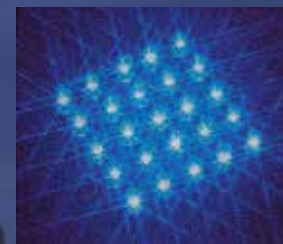
外国大学との連携による多様なアカデミック・パスの構築

- ・ アデレード大学（豪・医学分野）とのジョイント・ディグリー・プログラム
- ・ フライブルク大学（独）、ストラスブール大学（仏）（いずれも医学分野）とのジョイント・エデュケーショナル・プログラム等
- ・ ミシガン大学、UCLAとの工学分野における国際共同大学院「日米協働教育プログラム〔M〕」

途上国における産学連携や高度専門職業人「プロフェッショナル」の養成

- ・ フェ医科薬科大学（ベトナム）との連携による内視鏡トレーニングプログラム
- ・ チュラロンコン大学（タイ）、ハノイ工科大学（ベトナム）とのグリーンモビリティ若手研究者育成プログラム

ありがとうございました



Blue Light-emitting Diodes by University Professor Akasaki Isamu